

無線従事者国家試験申請システム
利用者用 操作ガイド

第14版

平成28年11月

0. 試験申請の流れ.....	1
1. システムにアクセスする.....	2
2. 受験する資格を選択する.....	4
3. 選択した試験を確認する.....	6
4. 利用に関する同意事項を確認する.....	7
5. 試験申請書を作成する.....	8
6. 試験申請書の内容を確認する.....	10
7. 試験申請の完了を確認する.....	11
7.1 画面情報を保存する.....	12
8. 試験手数料を払込む.....	13
9. 受験票を受け取る.....	14
10. 試験科目の免除申請について.....	15
10.1 試験科目の免除申請の種類.....	15
10.2 第一級、第二級及び第三級総合無線通信士.....	16
10.2.1 科目合格による免除.....	16
10.2.2 認定学校の卒業による免除.....	17
10.2.3 他の資格所有による免除.....	18
10.2.4 業務経歴による免除.....	19
10.3 第一級、第二級及び第三級海上無線通信士.....	20
10.4 第一級及び第二級陸上無線技術士.....	20
10.5 第四級海上無線通信士.....	21
10.5.1 科目合格による免除.....	21
10.5.2 他の資格所有による免除.....	22
10.6 航空無線通信士.....	23
10.6.1 科目合格による免除.....	23
10.6.2 認定学校の卒業による免除.....	24
10.6.3 他の資格所有による免除.....	25
10.7 特殊無線技士.....	26
10.7.1 他の資格所有による免除.....	26
10.8 第一級及び第二級アマチュア無線技士.....	28
10.9 第三級及び第四級アマチュア無線技士.....	28
11. 「他の資格保有により免除を希望する場合」の有効な資格について.....	29
11.1 無線従事者の資格を有するものに対する免除.....	29
11.2 電気通信主任技術者資格者証等を有するものに対する免除.....	30
12. エラーメッセージと対処法.....	31
13. お問い合わせ.....	33

0. 試験申請の流れ

無線従事者国家試験申請システムを利用した試験申請の流れを図 1 に示します。

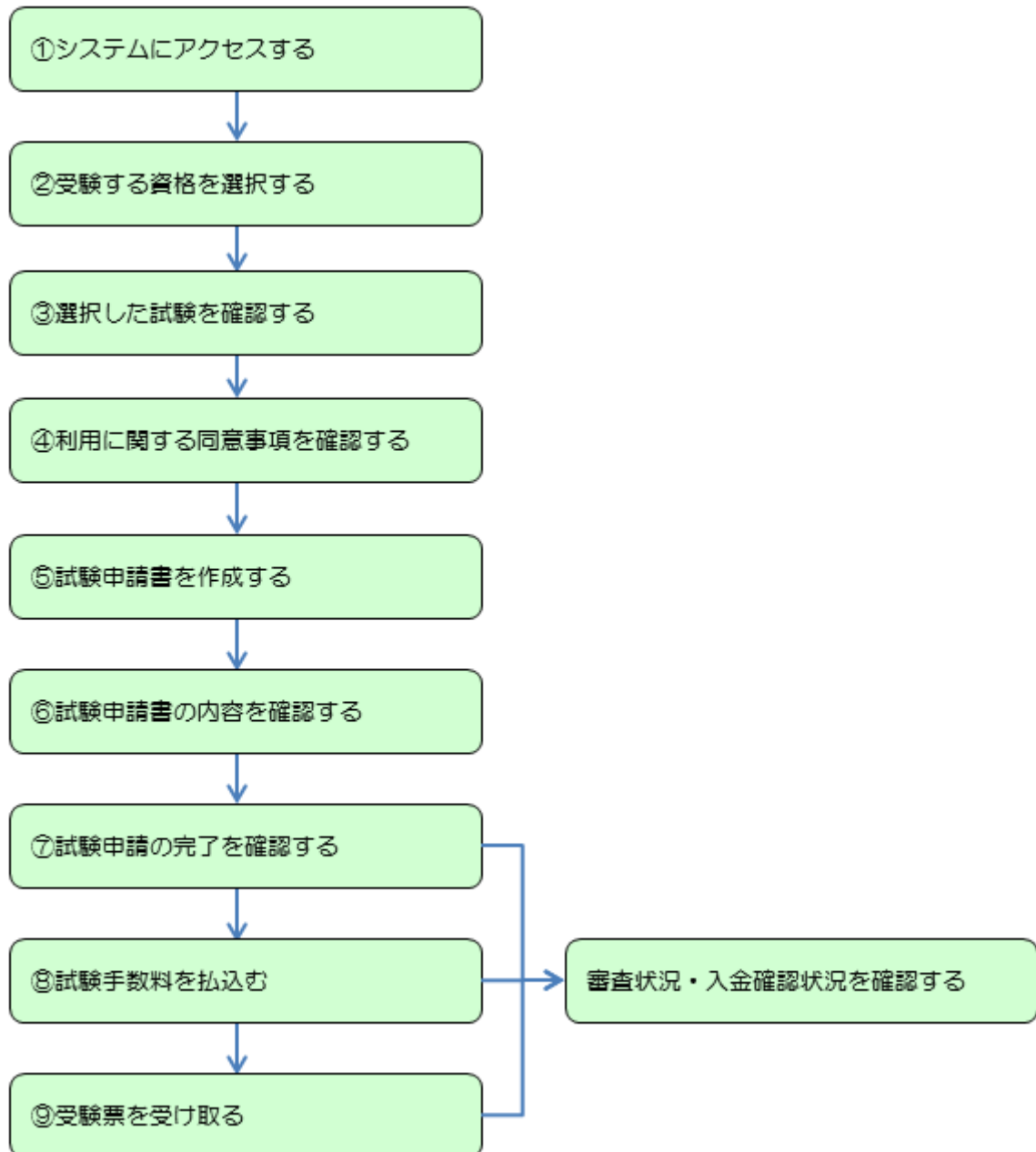


図 1 試験申請の流れ

1. システムにアクセスする

無線従事者国家試験申請システムへアクセスします。

日本無線協会の Web ページのリンクから、または以下のアドレスにアクセスします。

<https://shinsei.nichimu.or.jp/>

無線従事者国家試験申請システムにアクセスすると、システムトップ画面が表示されます。

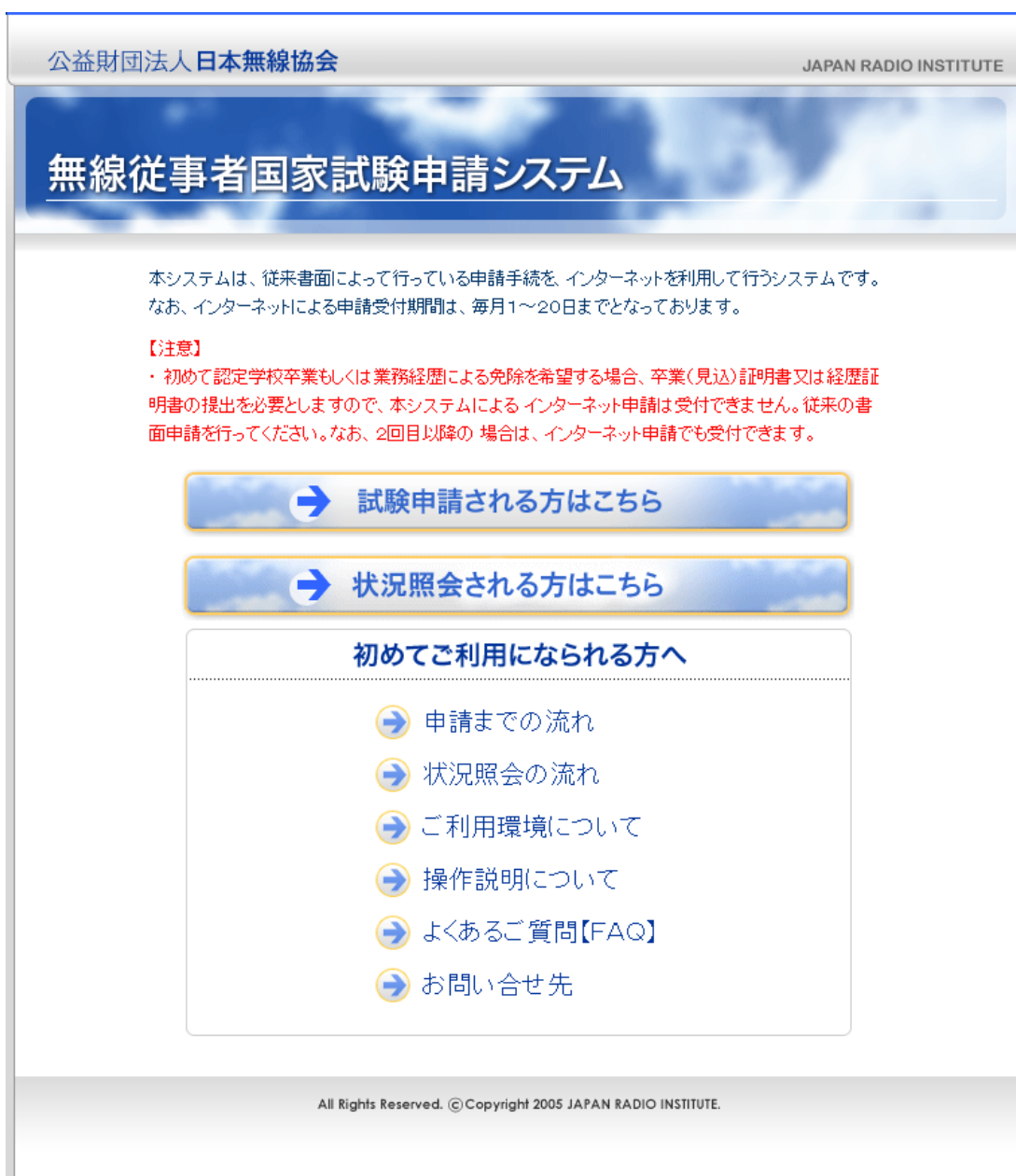


図 2 システムトップ画面

このシステムトップ画面より、「試験申請される方はこちら」をクリックすると、試験情報画面が表示されます。この試験情報画面より受験を希望する資格を選択することから申請操作を開始します。

また申請を完了し、「状況照会をされる方はこちら」をクリックすると、状況照会画面が表示されます。入金確認状況等を確認したい場合は、この状況照会画面より照会操作を開始します。

- [注意]
- ・ 初めて認定学校卒業もしくは業務経歴による免除を希望する場合、卒業証明書又は経歴証明書の提出を必要としますので、本システムによるインターネット申請は受付できません。従来の 書面申請を行ってください。なお、2回目以降の場合は、インターネット申請でも受付できます。試験申請を行う前に、必ず該当する試験の試験案内をご確認ください。

2. 受験する資格を選択する

受験を希望する資格を選択します。

試験情報画面では、現在申請可能な無線従事者国家試験の一覧が表示されます。受験を希望する資格のチェックボックスを選択し、**次へ** ボタンをクリックしてください。

試験案内を閲覧する場合は、資格名のリンクをクリックしてください。日本無線協会の Web ページにて公開されている試験案内（PDF ファイル）が表示されます。

公益財団法人日本無線協会
無線従事者国家試験申請システム

試験情報

現在、申請可能な無線従事者国家試験は、以下のとおりです。
受験する資格の選択ボタンをクリックしてから【次へ】をクリックしてください。
試験案内を閲覧する場合には、資格名をクリックしてください。

平成25年9月期 実施分 受付期間：2013年07月01日(月) ～ 2013年08月31日(土)

選択	資格名
	通信士(総合)
<input type="radio"/>	第一級総合無線通信士
<input type="radio"/>	第二級総合無線通信士
<input type="radio"/>	第三級総合無線通信士
	通信士(海上)
<input type="radio"/>	第一級海上無線通信士
<input type="radio"/>	第二級海上無線通信士
<input type="radio"/>	第三級海上無線通信士
	通信士(海上、航空)
<input type="radio"/>	第四級海上無線通信士
<input type="radio"/>	航空無線通信士
	技術士
<input type="radio"/>	第一級陸上無線技術士
<input type="radio"/>	第二級陸上無線技術士
	特技
<input type="radio"/>	第一級海上特殊無線技術士
<input type="radio"/>	第二級海上特殊無線技術士
<input type="radio"/>	第三級海上特殊無線技術士
<input type="radio"/>	第一級海上特殊無線技術士
<input type="radio"/>	航空特殊無線技術士
<input type="radio"/>	第一級陸上特殊無線技術士
<input type="radio"/>	第二級陸上特殊無線技術士
<input type="radio"/>	第三級陸上特殊無線技術士
<input type="radio"/>	国内電信級陸上特殊無線技術士
	アマチュア
<input type="radio"/>	第一級アマチュア無線技術士
<input type="radio"/>	第二級アマチュア無線技術士
<input type="radio"/>	第三級アマチュア無線技術士
<input type="radio"/>	第四級アマチュア無線技術士

次へ

All Rights Reserved. Copyright (c) 2005 JAPAN RADIO INSTITUTE.

図 3 試験情報画面

- [注意]
- 試験申請を行う前に、必ず該当する試験の試験案内をご確認ください。
 - 受付期間外の場合は試験の一覧が表示されません。
 - 受付期間は、試験施行月の2ヶ月前の1日から20日になります。詳しくは、日本無線協会の Web ページの試験案内をご確認ください。

3. 選択した試験を確認する

受験を希望する試験を確認します。

試験選択確認画面では、試験情報画面で選択した無線従事者国家試験が表示されます。受験を希望する資格が正しいか確認し、**次へ**ボタンをクリックしてください。**戻る**ボタンをクリックした場合は、試験情報画面に戻ります。



図 4 試験選択確認画面

4. 利用に関する同意事項を確認する

本システムの利用に関する同意事項を確認します。

本システムの利用に関する同意事項を確認し、同意できる場合は「同意する」ボタンをクリックしてください。「同意しない」ボタンをクリックした場合は、試験情報画面に戻ります。

公益財団法人日本無線協会
無線従事者国家試験申請システム

ヘルプ

利用に関する同意事項

お申し込みの前に必ずお読みください。

利用に関する同意事項

以下の「利用に関する同意書」を必ずお読みいただき、同意いただける場合は【同意する】ボタンを、同意いただけない場合は【同意しない】ボタンをクリックしてください。

- インターネットの利用による申請者は、公益財団法人日本無線協会のホームページに掲載している当該資格の「無線従事者国家試験案内(インターネット申込用)」に従って申請すること。
- インターネットの利用による申請者は虚偽の入力を行わないこと。入力した事項に不正があった場合には当該資格試験を受けられないことがある。
- インターネットの利用による申請者が入力した氏名、生年月日、住所、電話番号、電子メールアドレス等個人情報について、本協会(本協会との契約に基づき、データの入力、処理、システムの保守管理等を行う業者を含む)がこれを試験業務を円滑に遂行するためにのみ利用し、外部に公表や提供は一切行わない(個人情報の保護に関する法律に規定するものを除く。)という[プライバシーポリシー](#)を遵守していることを承認すること。

同意しない 同意する

All Rights Reserved. Copyright (c) 2005 JAPAN RADIO INSTITUTE.

図 5 利用に関する同意事項画面

[ワンポイント] 本システムでは、安全性の証明とプライバシー保護のため、SSL サーバ証明書を使用し、SSL 暗号化通信を行っています。

5. 試験申請書を作成する

試験申請書を作成します。

例を参考にしながら必要項目を入力します。入力が完了したら、「次へ」ボタンをクリックしてください。「戻る」ボタンをクリックした場合は、利用に関する同意事項画面に戻ります。

公益財団法人日本無線協会
無線従事者国家試験申請システム
ヘルプ

試験申請書作成

以下の内容で、試験申請書を作成します。各項目を入力し、【次へ】ボタンをクリックしてください。なお、(*)のついている項目は必須項目ですので、必ず入力してください。

平成25年7月期 第四級アマチュア無線技士
試験申請書

氏名 (*)	フリガナ	姓: <input type="text"/>	名: <input type="text"/>		
	漢字	姓: <input type="text"/>	名: <input type="text"/>		
生年月日 (*)		<input type="text"/> (例: 昭和55年1月11日 → S550111)			
性別 (*)		<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女			
メールアドレス (*)		<input type="text"/>		(例: sample@nichimu.or.jp)	
				※ 確認用	
郵便番号 (*)		<input type="text"/> <input type="button" value="住所自動入力"/>			
		郵便番号を入力して、「住所自動入力」ボタンをクリックすると町域まで自動的に入力されます。 ※ハイフン(-)を含めない7桁の半角数字 (例: 104-0053 → 1040053)			
都道府県 (*)		選択してください ▼			
受験票の送付先住所	市区町村 (*)	フリガナ	<input type="text"/> (例: チュウオウク)		
		漢字	<input type="text"/> (例: 中央区)		
町域	フリガナ	<input type="text"/> (例: ハルミ)			
	漢字	<input type="text"/> (例: 晴海)			
番地 (*)		<input type="text"/> (例: 3丁目3番地3号 → 3-3-3、無番地は「0J」) ※ 半角英数記号のみ			
マンション・ビル名・部屋番号・会社名・所属等	フリガナ	<input type="text"/> (例: エマチュウ ゴウシツ)			
	名称等	<input type="text"/> (例: 江間忠ビル 2F 201号室) ※「名称等」は部屋番号、会社名・所属等まですべて正確に記入してください。			
電話番号	自宅 / 携帯	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> ※ 半角数字のみ (例: 03 3533 6022)			
	勤務先等	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> ※ 半角数字のみ (例: 03 3533 6022)			
受験希望地 (*)		選択してください ▼			
身体の不自由な場合		<input type="checkbox"/> 目が見えない <input type="checkbox"/> 耳が聞こえない <input type="checkbox"/> 車椅子使用 <input type="checkbox"/> 介添人有り <input type="checkbox"/> 弱視 <input type="checkbox"/> 手が不自由			

All Rights Reserved. Copyright (c) 2005 JAPAN RADIO INSTITUTE.

図 6 試験申請書作成画面

[ワンポイント] 郵便番号を入力した後に住所自動入力 ボタンをクリックすると、入力された郵便番号から「都道府県」、「市区町村」、「町域」が自動入力されます。氏名漢字に JIS 第三水準漢字、JIS 第四水準漢字が入力可能です。なお、他の入力項目には JIS 第三水準漢字、JIS 第四水準漢字は入力できません。

- [注意]
- ・ 「(*)」のついている項目は必須項目ですので、必ず入力する必要があります。
 - ・ 入力項目に不足や誤りがある場合に **次へ** ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。表示メッセージに従い、入力項目を修正してください。修正が完了したら、再度 **次へ** ボタンをクリックしてください。

受験する資格によっては、試験科目の免除を申請することができます。免除の申請については、「10.試験科目の免除申請について（15 ページ）」をお読みください。

6. 試験申請書の内容を確認する

作成した試験申請書の内容を確認します。

内容を確認し、よろしければ**確定** ボタンをクリックしてください。本**確定** ボタンをクリックすることで、試験申請が完了します。入力項目を修正する場合は、**戻る** ボタンをクリックしてください。申請書作成画面に戻ります。

氏名		フリガナ	ムセン タロウ
		漢字	無線 太郎
生年月日			昭和55年1月11日
性別			男
メールアドレス			sample@nichimu.or.jp
受験票の送付先住所	郵便番号		1040053
	都道府県		東京都
	市区町村	フリガナ	チュウオウク
		漢字	中央区
	町域	フリガナ	ハルミ
		漢字	晴海
番地			3-3-3
マンション、ビル名、部屋番号、会社名、所属等	フリガナ	エマチュウ ゴウシツ	
	名称等	江間忠ビル 2F201号室	
電話番号	自宅 / 携帯	03-3533-6022	
	勤務先等	03-3533-6022	
受験希望地		東京	
身体の不自由な場合		<input type="checkbox"/> 目が見えない <input type="checkbox"/> 耳が聞こえない <input type="checkbox"/> 車椅子使用 <input type="checkbox"/> 介添人有り <input type="checkbox"/> 弱視 <input type="checkbox"/> 手が不自由	

図 7 試験申請内容確認画面

- [注意]
- 指定された都道府県と受験希望地を管轄する支部が異なる場合は、警告メッセージが表示されます。メッセージの内容を確認し、よろしければ**確定** ボタンをクリックしてください。

7. 試験申請の完了を確認する

試験申請の完了を確認します。試験申請が完了すると整理番号が発行されます。本整理番号は受験料の払込みの際に必要なになりますので、画面の内容をプリントアウト、またはこの画面情報を保存ボタンで画面情報をダウンロードする等して記録保存してください。また、本画面表示後に試験申請書に入力したメールアドレスに申請受付の完了通知メールが送付されます。完了通知メールには整理番号、申請日が記載されています。

「申請入力完了」画面に表示される整理番号・問い合わせ番号は状況照会に必要なになります。

公益財団法人日本無線協会
無線従事者国家試験申請システム

申請入力完了

申請(仮)受付を完了しました。

払込用紙の通信欄には下記の「整理番号」を必ず記載してください。

試験期	平成26年4月期
資格名	第四級アマチュア無線技士
整理番号	N00018
問い合わせ番号	4GzSBcxj
申請日	H260217
試験手数料	5,002円
手数料払込期限	H260220

なお、この受付は仮受付となっておりますので、以下のとおり、指定の払込期限までに試験手数料を払込んでください。
期限までに払込みのない場合は、この試験申請は無効となります。
※この画面の内容は振替払込時や本協会に問合せの際に必要なになりますので、受験票が届くまでは本画面を印刷して大切に保管してください。

- ゆうちょ銀行または郵便局の窓口で備付の振替払込用紙を使用し、次の口座に払込んでください。
 - ・口座記号番号:00120-6-686155
 - ・加入者名:公益財団法人 日本無線協会
 - この口座番号は電子申請専用の口座となっておりますので、必ずこの口座に払込んでください。
 - 注意:電子申請の試験手数料払込み専用の口座ですので、これ以外の手数料等の払込みには使用できません。十分ご注意ください。
- 払込みに要する手数料は、払込みをする方が負担してください。
- 払込用紙の通信欄には上記の「整理番号」を必ず記載してください。また、個人申請の場合で、申請者と払込人が異なるときは、申請者の氏名を通信欄に記載してください。
- ゆうちょ銀行または郵便局の振替払込受領証をもって当協会からの領収書とさせていただきます。あらかじめ当協会からは領収書は発行いたしません。
- 本申請に係る受験票は来月中旬頃に発送いたします。それまでは本画面を印刷したものと振替払込受領証を大切に保管してください。
- 入金確認のお問い合わせは、入金した日の営業日以降に、状況照会画面から問い合わせ番号等を入力して、ご照会ください。
なお、試験が行われる月まで照会が可能です。

終了 ▶ この画面情報を保存

All Rights Reserved. Copyright (c) 2005 JAPAN RADIO INSTITUTE.

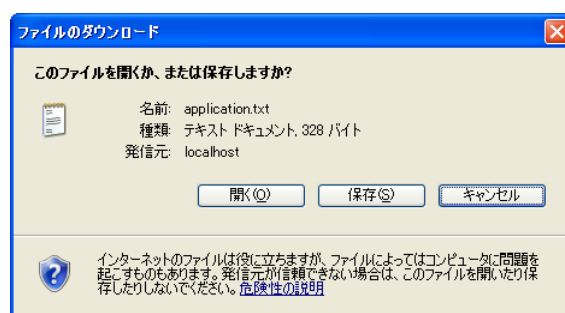
図 8 申請完了画面

[ワンポイント] 状況照会は、<https://shinsei.nichimu.or.jp/>から「状況照会される方はこちら」ボタンをクリックすると状況照会画面が表示されます。
審査状況・入金確認状況等の確認が可能です。

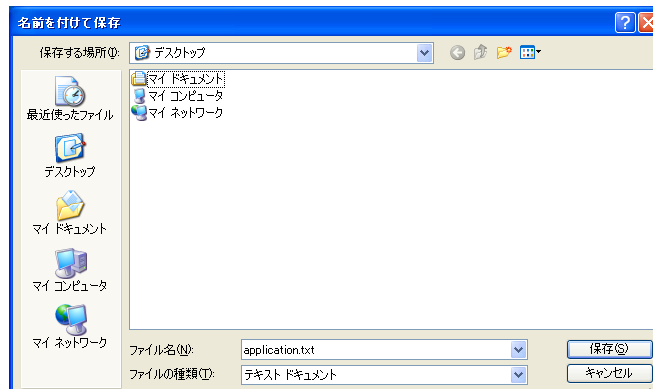
- [注意] ・ 申請受付の完了通知メールが届かない場合は、日本無線協会本部までお問い合わせください。お問い合わせについては、「13 お問い合わせ（33 ページ）」をお読みください。

7.1 画面情報を保存する

この画面情報を保存 ボタンをクリックすると、「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されます。



「ファイルのダウンロード」ダイアログ上で**保存** ボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。



「名前を付けて保存」ダイアログ上で保存先を指定し、**保存** ボタンをクリックします。ファイルのダウンロードが実行され、指定したフォルダに画面情報を記載したファイルが生成されます。

8. 試験手数料を払込む

申請完了画面および申請受付の完了通知メールに表示されている整理番号、申請日を確認して、試験手数料払込期限までにゆうちょ銀行または郵便局の窓口で試験手数料を払込んでください。

- [注意]
- 試験手数料の払込期限
申請完了画面、完了通知メールに記載されている手数料払込期限の日にちが試験手数料の払込期限となります。

9. 受験票を受け取る

受験手数料の払込みが完了し、日本無線協会での手続きが完了すると受験票が郵送されます。

[ワンポイント] 受験票は試験施行月の前月15日前後に送付されます。

[注意] ・ 試験施行月に入っても受験票が届かない場合は、日本無線協会本部までお問い合わせください。お問い合わせについては、「13 お問い合わせ (33 ページ)」をお読みください。

10. 試験科目の免除申請について

10.1 試験科目の免除申請の種類

試験科目の免除申請には次の4種類があります。資格によって免除申請可能な科目が異なります。各資格による免除申請については次節をお読みください。

試験科目の免除申請の種類

No.	種類	説明
1	科目合格による免除	既に行われた試験の科目合格となった試験科目について、該当試験の行われた月の翌月から起算して3年間、該当資格の該当試験科目の試験の免除を受けることができます。
2	認定学校の卒業による免除	総務大臣の認定を受けた学校等を平成8年4月1日以降に卒業し、かつ、認定に係る教育課程を修了した者が、卒業の日から3年以内に行われる試験を受験する場合に免除を受けることができます。
3	他の資格所有による免除	無線従事者の資格を有する者または電気通信主任技術者証もしくは工事担任者資格者証の交付を受けている者は免除を受けることができます。
4	業務経歴による免除	現に有する無線従事者の資格により、無線局（アマチュア局を除く。）の無線設備の操作に従事した経歴を有する者は免除を受けることができます。

- [注意] ・ 初めて認定学校卒業もしくは業務経歴による免除を希望する場合、卒業証明書又は経歴証明書の提出を必要としますので、本システムによるインターネット申請は受付できません。従来の書面申請を行ってください。なお、2回目以降の場合は、インターネット申請でも受付できます。

10.2 第一級、第二級及び第三級総合無線通信士

10.2.1 科目合格による免除

試験申請書作成画面にある、免除申請を行う科目のチェックボックスをチェックし、「合格した試験が行われた年月」「合格した試験の受験番号」を入力してください。

既に行われた試験の科目に合格していることにより免除を希望する場合		
免除を希望する科目	合格した試験が行われた年月 (例: 平成19年3月期 → H1903)	合格した試験の受験番号 ※ 半角英数字(例: 1040001)
<input type="checkbox"/> 無線工学の基礎	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 無線工学A	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 無線工学B	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 法規	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 地理	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 英語	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 電気通信術	<input type="text"/>	<input type="text"/>

図 9 科目合格による免除（第一級総合無線通信士）

- [注意]
- 科目合格による免除は、科目合格となった試験科目について、該当試験の行われた月の翌月から起算して3年間が有効期間です。
 - 科目のチェックボックスをチェックすると、「合格した試験が行われた年月」「合格した試験の受験番号」は必須入力項目になります。
 - 各免除申請（科目合格、認定学校の卒業、他の資格所有、業務経歴）で同じ科目を選択することはできません。
例えば、科目合格による免除で「無線工学の基礎」を選択し、かつ、認定学校の卒業による免除でも「無線工学の基礎」を選択することはできません。
どちらか一つにする必要があります。

10.2.2 認定学校の卒業による免除

認定学校の卒業により初めて免除を受ける場合は、卒業証明書の郵送による提出を必要としますので、本システムによるインターネット申請は受付できません。従来の書面による申請を行ってください。なお、2回目以降の場合は、インターネット申請でも受付できます。

試験申請書作成画面にある、免除申請を行う科目のチェックボックスをチェックし、「学校名」「部科名」「卒業年月日」「卒業証明書及び科目履修証明書（提出済み：試験年月、受験番号）」を入力してください。「卒業証明書及び科目履修証明書（提出済み：試験年月、受験番号）」は、書面により認定学校の卒業による免除申請をした試験の試験年月と受験番号になります。

認定学校の卒業により免除を希望する場合

初めて免除を受ける場合は卒業証明書の提出を必要としますので、本システムによるインターネット申請は受付できません。従来の書面申請を行ってください。なお、2回目以降の場合は、インターネット申請でも受付できます。

学校名	<input type="text"/>		
部科名	<input type="text"/>		
卒業年月日	<input type="text"/>	卒業	▼ (例: 平成19年3月31日 → H190331)
卒業証明書及び科目履修証明書	提出済み		
	試験年月	<input type="text"/>	(例: 平成19年3月期 → H1903)
	受験番号	<input type="text"/>	※ 半角英数字(例: 1040001)
<input type="checkbox"/>	無線工学の基礎		
<input type="checkbox"/>	英語		
<input type="checkbox"/>	電気通信術		

図 10 認定学校の卒業による免除（第一級総合無線通信士）

- [注意]
- 認定学校の卒業による免除は、卒業の日から3年間が有効期間です。
 - 科目のチェックボックスをチェックすると、「学校名」「卒業年月日」は必須入力項目になります。
 - 各免除申請（科目合格、認定学校の卒業、他の資格所有、業務経歴）で同じ科目を選択することはできません。
例えば、科目合格による免除で「無線工学の基礎」を選択し、かつ、認定学校の卒業による免除でも「無線工学の基礎」を選択することはできません。どちらか一つにする必要があります。

10.2.3 他の資格所有による免除

試験申請書作成画面にある、免除申請を行う科目のチェックボックスをチェックし、「現に有する資格」「免許証の番号」を入力してください。

他の資格所有により免除を希望する場合	
現に有する資格	<input type="text"/>
免許証又は資格者証の番号	<input type="text"/> ※半角英(大文字)数字
現に有する資格	<input type="text"/>
免許証又は資格者証の番号	<input type="text"/> ※半角英(大文字)数字
<input type="checkbox"/> 無線工学の基礎	
<input type="checkbox"/> 無線工学A	
<input type="checkbox"/> 無線工学B	

図 11 他の資格所有による免除（第一級総合無線通信士）

- [注意]
- 科目のチェックボックスをチェックすると、「現に有する資格」「免許証の番号又は資格者証の番号」は必須入力項目になります
 - 各免除申請（科目合格、認定学校の卒業、他の資格所有、業務経歴）で同じ科目を選択することはできません。
例えば、科目合格による免除で「無線工学の基礎」を選択し、かつ、認定学校の卒業による免除でも「無線工学の基礎」を選択することはできません。どちらか一つにする必要があります。

10.2.4 業務経歴による免除

業務経歴により初めて免除を受ける場合は、経歴証明書の郵送による提出を必要としますので、本システムによるインターネット申請は受付できません。従来の書面による申請を行ってください。なお、2回目以降の場合は、インターネット申請でも受付できます。

試験申請書作成画面にある、免除申請を行う科目のチェックボックスをチェックし、「現に有する資格」「免許証の番号」「免許年月日」「業務経歴」「経歴証明書（提出済み：試験年月、受験番号）」を入力してください。「経歴証明書（提出済み：試験年月、受験番号）」は、書面により業務経歴による免除申請をした試験の試験年月と受験番号になります。

業務経歴により免除を希望する場合	
初めて免除を受ける場合は経歴証明書の提出を必要としますので、本システムによるインターネット申請は受付できません。従来の書面申請を行ってください。なお、2回目以降の場合は、インターネット申請でも受付できます。	
現に有する資格	<input type="text"/>
免許証の番号	<input type="text"/> ※半角英数字
免許年月日	<input type="text"/> (例:平成19年3月4日 → H190304)
業務経歴	<input type="text"/> 年以上
経歴証明書	提出済み 試験年月 <input type="text"/> (例:平成19年3月期 → H1903) 受験番号 <input type="text"/> ※半角英数字(例:1040001)
<input type="checkbox"/> 無線工学の基礎	
<input type="checkbox"/> 法規	
<input type="checkbox"/> 地理	
<input type="checkbox"/> 英語	
<input type="checkbox"/> 電気通信術	

図 12 業務経歴による免除（第一級総合無線通信士）

- [注意]
- 科目のチェックボックスをチェックすると、「現に有する資格」「免許証の番号」「免許年月日」「業務経歴」は必須入力項目になります。
 - 各免除申請（科目合格、認定学校の卒業、他の資格所有、業務経歴）で同じ科目を選択することはできません。
例えば、科目合格による免除で「無線工学の基礎」を選択し、かつ、認定学校の卒業による免除でも「無線工学の基礎」を選択することはできません。どちらか一つにする必要があります。

10.3 第一級、第二級及び第三級海上無線通信士

「10.2 第一級、第二級及び第三級総合無線通信士（16 ページ）」と同様です。

10.4 第一級及び第二級陸上無線技術士

「10.2 第一級、第二級及び第三級総合無線通信士（16 ページ）」と同様です。

10.5 第四級海上無線通信士

10.5.1 科目合格による免除

試験申請書作成画面にある、免除申請を行う科目のチェックボックスをチェックし、「合格した試験が行われた年月」「合格した試験の受験番号」を入力してください。

既に行われた試験の科目に合格していることにより免除を希望する場合		
免除を希望する科目	合格した試験が行われた年月 (例: 平成19年3月期 → H1903)	合格した試験の受験番号 ※半角英数字(例: 1040001)
<input type="checkbox"/> 無線工学	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 法規	<input type="text"/>	<input type="text"/>

図 13 科目合格による免除（第四級海上無線通信士）

- [注意]
- 科目合格による免除は、科目合格となった試験科目について、該当試験の行われた月の翌月から起算して3年間が有効期間です。
 - 科目のチェックボックスをチェックすると、「合格した試験が行われた年月」「合格した試験の受験番号」は必須入力項目になります。
 - 各免除申請（科目合格、他の資格所有）で同じ科目を選択することはできません。例えば、科目合格による免除で「無線工学」を選択し、かつ、他の資格所有による免除でも「無線工学」を選択することはできません。どちらか一つにする必要があります。

10.5.2 他の資格所有による免除

試験申請書作成画面にある、免除申請を行う科目のチェックボックスをチェックし、「現に有する資格」「免許証の番号」を入力してください。

他の資格所有により免除を希望する場合	
現に有する資格	<input type="text"/>
免許証又は資格者証の番号	<input type="text"/> ※半角英(大文字)数字
現に有する資格	<input type="text"/>
免許証又は資格者証の番号	<input type="text"/> ※半角英(大文字)数字
<input type="checkbox"/> 無線工学	
<input type="checkbox"/> 法規	

図 14 他の資格所有による免除（第四級海上無線通信士）

- [注意]
- 科目のチェックボックスをチェックすると、「現に有する資格」「免許証の番号」は必須入力項目になります
 - 各免除申請（科目合格、他の資格所有）で同じ科目を選択することはできません。例えば、科目合格による免除で「無線工学」を選択し、かつ、認定学校の卒業による免除でも「無線工学」を選択することはできません。どちらか一つにする必要があります。

10.6 航空無線通信士

10.6.1 科目合格による免除

試験申請書作成画面にある、免除申請を行う科目のチェックボックスをチェックし、「合格した試験が行われた年月」「合格した試験の受験番号」を入力してください。

既に行われた試験の科目に合格していることにより免除を希望する場合		
免除を希望する科目	合格した試験が行われた年月 (例: 平成19年3月期 → H1903)	合格した試験の受験番号 ※半角英数字(例: 1040001)
<input type="checkbox"/> 無線工学	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 法規	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 英語	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 電気通信術	<input type="text"/>	<input type="text"/>

図 15 科目合格による免除（航空無線通信士）

- [注意]
- 科目合格による免除は、科目合格となった試験科目について、該当試験の行われた月の翌月から起算して3年間が有効期間です。
 - 科目のチェックボックスをチェックすると、「合格した試験が行われた年月」「合格した試験の受験番号」は必須入力項目になります。
 - 各免除申請（科目合格、認定学校の卒業、他の資格所有）で同じ科目を選択することはできません。
例えば、科目合格による免除で「電気通信術」を選択し、かつ、他の資格所有による免除でも「電気通信術」を選択することはできません。どちらか一つにする必要があります。

10.6.2 認定学校の卒業による免除

認定学校の卒業により初めて免除を受ける場合は、卒業証明書の郵送による提出を必要としますので、本システムによるインターネット申請は受付できません。従来の書面による申請を行ってください。なお、2回目以降の場合は、インターネット申請でも受付できます。

試験申請書作成画面にある、免除申請を行う科目のチェックボックスをチェックし、「学校名」「部科名」「卒業年月日」を入力してください。

認定学校の卒業により免除を希望する場合	
初めて免除を受ける場合は卒業証明書の提出を必要としますので、本システムによるインターネット申請は受付できません。従来の書面申請を行ってください。なお、2回目以降の場合は、インターネット申請でも受付できます。	
学校名	<input type="text"/>
部科名	<input type="text"/>
卒業年月日	<input type="text"/> 卒業 <input type="text"/> (例: 平成19年3月31日 → H190331)
<input type="checkbox"/> 英語	
<input type="checkbox"/> 電気通信術	

図 16 認定学校の卒業による免除（航空無線通信士）

- [注意]
- 認定学校の卒業による免除は、卒業の日から3年間が有効期間です。
 - 科目のチェックボックスをチェックすると、「学校名」「卒業年月日」は必須入力項目になります。
 - 各免除申請（科目合格、認定学校の卒業、他の資格所有）で同じ科目を選択することはできません。
例えば、科目合格による免除で「電気通信術」を選択し、かつ、認定学校の卒業による免除でも「電気通信術」を選択することはできません。どちらか一つにする必要があります。

10.6.3 他の資格所有による免除

試験申請書作成画面にある、免除申請を行う科目のチェックボックスをチェックし、「現に有する資格」「免許証の番号」を入力してください。

他の資格所有により免除を希望する場合	
現に有する資格	<input type="text"/>
免許証又は資格者証の番号	<input type="text"/> ※半角英(大文字)数字
現に有する資格	<input type="text"/>
免許証又は資格者証の番号	<input type="text"/> ※半角英(大文字)数字
<input type="checkbox"/> 無線工学	
<input type="checkbox"/> 電気通信術	

図 17 他の資格所有による免除（航空無線通信士）

- [注意]
- 科目のチェックボックスをチェックすると、「現に有する資格」「免許証の番号」は必須入力項目になります
 - 各免除申請（科目合格、認定学校の卒業、他の資格所有）で同じ科目を選択することはできません。
例えば、科目合格による免除で「電気通信術」を選択し、かつ、他の資格所有による免除でも「電気通信術」を選択することはできません。どちらか一つにする必要があります。

10.7 特殊無線技士

10.7.1 他の資格所有による免除

免除申請を行う場合は「免除科目」を選択し、「現に有する資格」「免許証の番号」を入力してください。

免除科目	<input type="button" value="v"/> * 空白:免除なし, A:無線工学
受験希望地 (*)	選択してください <input type="button" value="v"/>
身体の不自由な場合	<input type="checkbox"/> 目が見えない <input type="checkbox"/> 耳が聞こえない <input type="checkbox"/> 車椅子使用 <input type="checkbox"/> 介添人有り <input type="checkbox"/> 弱視 <input type="checkbox"/> 手が不自由

試験免除を希望する場合は、以下の内容を入力してください。

他の資格所有により免除を希望する場合

現に有する資格	<input type="text"/>
免許証又は資格者証の番号	<input type="text"/> ※半角英(大文字)数字

図 18 他の資格所有による免除（特殊無線技士）

- [注意]
- 免除科目のドロップダウンリストを選択すると、「現に有する資格」「免許証の番号」は必須入力項目になります

「免除科目」の選択肢は現に有する資格と受験する資格により次のようになります。

現に有する資格と受験する資格

No	現に有する資格	受験する資格	試験科目		免除科目の 選択肢
			法規	無線工学	
1	第一級陸上無線 技術士	第一級海上特殊無線技士		○	A
2	第二級陸上無線 技術士			○	A
3	第三級総合無線 通信士		○	○	C
4	第四級海上無線 通信士			○	A
5	第一級陸上無線 技術士	第二級海上特殊無線技士		○	A
6	第二級陸上無線 技術士			○	A
7	第一級陸上無線 技術士	第三級海上特殊無線技士		○	A
8	第二級陸上無線 技術士			○	A
9	第一級陸上無線 技術士	航空特殊無線技士		○	A
10	第二級陸上無線 技術士			○	A
11	第二級総合無線 通信士	第一級陸上特殊無線技士	○		E

レーダー級海上特殊無線技士、第三級陸上特殊無線技士、国内電信級陸上特殊無線技士の試験では試験科目の免除はありません。

10.8 第一級及び第二級アマチュア無線技士

第一級及び、第二級アマチュア無線技士の試験では試験科目の免除はありません。

10.9 第三級及び第四級アマチュア無線技士

第三級及び、第四級アマチュア無線技士の試験では試験科目の免除はありません。

11. 「他の資格保有により免除を希望する場合」の有効な資格について

「他の資格保有により免除を希望する場合」の有効な受験資格と保有資格のパターンは、無線従事者の資格を有するものに対する免除と電気通信主任技術者資格者証等を有するものに対する免除があります。

11.1 無線従事者の資格を有するものに対する免除

無線従事者の資格を有するものに対する免除は以下のパターンになります。

受験者が現に有する資格	受験する資格
第一級総合無線通信士	第一級陸上無線技術士
第二級総合無線通信士	第二級海上無線通信士
	第三級海上無線通信士
	第二級陸上無線技術士
	第一級陸上特殊無線技士
	第三級海上無線通信士
第三級総合無線通信士	第一級海上特殊無線技士
	第三級海上無線通信士
第一級海上無線通信士	第一級総合無線通信士
	第二級総合無線通信士
	第三級総合無線通信士
	第二級陸上無線技術士
第二級海上無線通信士	第二級総合無線通信士
	第三級総合無線通信士
	第一級海上無線通信士
第三級海上無線通信士	第三級総合無線通信士
	第一級海上無線通信士
	第二級海上無線通信士
	第四級海上無線通信士
第四級海上無線通信士	第三級海上無線通信士
	第一級海上特殊無線技士
航空特殊無線技士	航空無線通信士
第一級陸上無線技術士	第一級総合無線通信士
	第二級総合無線通信士
	第三級総合無線通信士
	第一級海上無線通信士
	第二級海上無線通信士
	第三級海上無線通信士
	第四級海上無線通信士
	第一級海上特殊無線技士
	第二級海上特殊無線技士
	第三級海上特殊無線技士
	航空無線通信士
	航空特殊無線技士
	第二級陸上無線技術士
第二級総合無線通信士	
第三級総合無線通信士	
第一級海上無線通信士	
第二級海上無線通信士	
第三級海上無線通信士	
第四級海上無線通信士	
第一級海上特殊無線技士	
第二級海上特殊無線技士	

受験者が現に有する資格	受験する資格
	第三級海上特殊無線技士
	航空無線通信士
	航空特殊無線技士

11.2 電気通信主任技術者資格者証等を有するものに対する免除

電気通信主任技術者資格者証等を有するものに対する免除は以下のパターンになります。


受験者が現に有する資格	受験する資格
伝承交換主任技術者 旧第2種伝送交換主任技術者	第一級総合無線通信士
	第二級総合無線通信士
	第三級総合無線通信士
	第一級海上無線通信士
	第二級海上無線通信士
	第一級陸上無線技術士
	第二級陸上無線技術士
	線路主任技術者
	第二級総合無線通信士
	第三級総合無線通信士
	第一級海上無線通信士
	第二級海上無線通信士
	第一級陸上無線技術士
	第二級陸上無線技術士
工事担任者（AI 第一種、AI 第二種、DD 第一種、DD 第二種及び AI・DD 総合種に限る。）（注）	第二級総合無線通信士
	第三級総合無線通信士
	第二級海上無線通信士

注 アナログ第一種、アナログ第二種、デジタル第一種、デジタル第二種及びアナログ・デジタル総合種を含む。

12. エラーメッセージと対処法

無線従事者国家試験申請システムにおけるエラーメッセージと対処法を以下に示します。

No.	メッセージ	対処方法
1	{項目}: 値を設定してください。	{項目}は必須の入力項目です。値を入力または選択してください。
2	{項目}: 半角数字を入力してください。	{項目}は半角数字のみ入力可能です。例を確認し、半角数字 (0~9) で入力してください。
3	{項目}: 半角英字を入力してください。	{項目}は半角英字のみ入力可能です。例を確認し、半角英字 (a~z, A~Z) で入力してください。
4	{項目}: 半角英数字を入力してください。	{項目}は半角英数字のみ入力可能です。例を確認し、半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) で入力してください。
5	{項目}: 半角英数字を入力してください (半角ハイフン入力可)。	{項目}は半角英数字、および半角ハイフンのみ入力可能です。例を確認し、半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) か半角ハイフン (-) で入力してください。
6	{項目}: 全角カナ、全半角英数字を入力してください (全半角ハイフン入力可)。	{項目}は全角カタカナ、全半角英数字、および全半角ハイフンのみ入力可能です。例を確認し、全角カタカナ、半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) および全半角ハイフン (-) で入力してください。
7	{項目}: 入力形式に誤りがあります。	{項目}の例を確認し、入力した内容の形式に従って修正してください。例: 試験期、生年月日など。
8	{項目}: {N} 文字以下にしてください。	{項目}の入力文字数を{N}文字以下にしてください。
9	{項目}: {N} 文字以上にしてください。	{項目}の入力文字数を{N}文字以上にしてください。
10	正しいメールアドレスではありません。	メールアドレスの入力形式を確認し、「xxx@xxx」の形式になるように修正してください。
11	入力された値は {項目} と等しくありません。	該当入力項目を{項目}の値と同じになるように修正してください。
12	電話番号 の入力項目に不足があります。	例に従い、電話番号の3つの入力項目に数値を入力してください。
13	電話番号(勤務先等) の入力項目に不足があります。	例に従い、電話番号(勤務先等)の3つの入力項目に数値を入力してください。
14	氏名(フリガナ) の文字数の合計が長すぎます。	氏名(フリガナ)の姓、名の合計が指定の文字数以下になるように修正してください。濁点も1文字と計算されます。
15	住所(フリガナ) の文字数の合計が長すぎます。	住所(フリガナ)の市区町村、町域、番地、ビル名等の合計が指定文字数以下になるように修正してください。濁点も1文字と計算されます。
16	免除科目の選択に重複があります。	各免除申請(科目合格、認定学校の卒業、他の資格所有、業務経歴)で同じ科目を選択することはできません。
17	科目合格による免除申請の入力項目に不足があります。	科目合格による免除申請の項目に入力してください。
18	科目合格による免除申請は、合格から3年間しか適用できません。	科目合格した試験月の翌月から起算して3年間経過している場合は免除申請が適用できません。免除申請は行わないでください。
19	認定学校の卒業による免除申請の入力項目に不足があります。	認定学校の卒業による免除申請の項目に入力してください。

No.	メッセージ	対処方法
20	認定学校の卒業による免除申請は、卒業から3年間しか適用できません。	認定学校を卒業格した日から起算して3年間経過している場合は免除申請が適用できません。免除申請は行わないでください。
21	他の資格所有による免除申請の入力項目に不足があります。	他の資格所有による免除申請の項目に入力してください。
22	業務経歴による免除申請の入力項目に不足があります。	業務経歴による免除申請の項目に入力してください。
23	選択された免除科目の組み合わせでは申請できません。	試験科目の全てを選択しての免除申請はできません。免除申請の入力内容を確認し、修正してください。
24	「免許証又は資格者証の番号」に入力された番号は不正です。「受験者が現に有する資格」により、当該資格の試験科目を一部免除する場合に有効と定められた資格の番号を入力してください。ヘルプを参照して、正しい資格の番号を入力してください。	「他の資格所有により免除を希望する場合」に入力した番号が不正です。 「10. 「他の資格保有により免除を希望する場合」について」を参考に「免許証又は資格者証の番号」に正しい番号を入力してください。
25	JIS 第三水準漢字、JIS 第四水準漢字は入力できません。ヘルプを参照しご対応下さい。	本システムでは、氏名漢字を除き JIS 第三水準漢字、JIS 第四水準漢字は入力できません。 当該文字は入力しないで下さい。 「Windows Vista」以降では、従来の Windows に比べ、日本語入力で使用できる文字が増えました。 (JIS2004 に対応) これにより、本システムでは環境依存文字(JIS 第三水準/第四水準漢字等)について文字化けが発生するなど、文字を正しく取り扱えない場合があり、入力値のチェックをしています。 【環境依存文字の確認方法】 文字入力後の変換(スペースキー押下)時に「環境依存文字(unicode)」と表示されます。 (例) おうがい 
26	正しい生年月日を入力してください。	生年月日には未来日を入力できません。正しい生年月日を入力してください。

13. お問い合わせ

公益財団法人 日本無線協会

住所：〒104-0053 東京都中央区晴海 3-3-3 江間忠ビル（本部）

TEL：03-3533-6022

FAX：03-3533-6824